

島根県保健医療計画〔地域医療〕（素案）の概要

第5章 医療提供体制の現状、課題及び施策の方向

第2節 9 地域医療（医師確保等によるへき地医療体制確保）

【現状の課題と施策の方向】

- 診療所の医師の高齢化、後継者不足等のため、診療所数が大幅に減少しており、一次医療が将来にわたり持続できるような体制の維持確保が必要
- 中山間地域・離島において、医師、看護師をはじめとした医療従事者が不足しており養成・確保・定着が必要
 - ⇒無医地区等を対象とした巡回診療やへき地診療所への代診医の派遣など、地域の診療支援を行う地域医療拠点病院やへき地診療所等が維持できるよう運営や設備等に対し支援
 - ⇒地域枠等医師のキャリア形成支援、総合診療医の育成、看護職員の県内就業、離職防止・再就職促進を図る取組
 - ⇒ドクターヘリや防災ヘリの運航やまめネット等のICTを活用し、広域にわたる医療機関連携の支援

| 項目 | 現状 | 目標 |
|--|------|------|
| ①地域医療拠点病院 | 24か所 | 維持 |
| ②しまね地域医療支援センターへの登録者等のうち、県内で研修・勤務する医師数 | 306人 | 467人 |
| ③しまね地域医療支援センターへの登録者等のうち、医師不足地域（松江、出雲以外）で研修・勤務する医師数 | 117人 | 171人 |